



### 「第22回 GPS/GNSSシンポジウム2017」参加のご報告

2017年11月7日から9日にわたり一般社団法人 測位航法学会主催の「GPS/GNSSシンポジウム2017」が開催され、当社も参加いたしました。第22回となる本シンポジウムでは、次年度より実用サービスが開始される準天頂衛星に関する講演が多くあり、会場からも多くの質問が成され、活発な議論が交わされる場となりました。

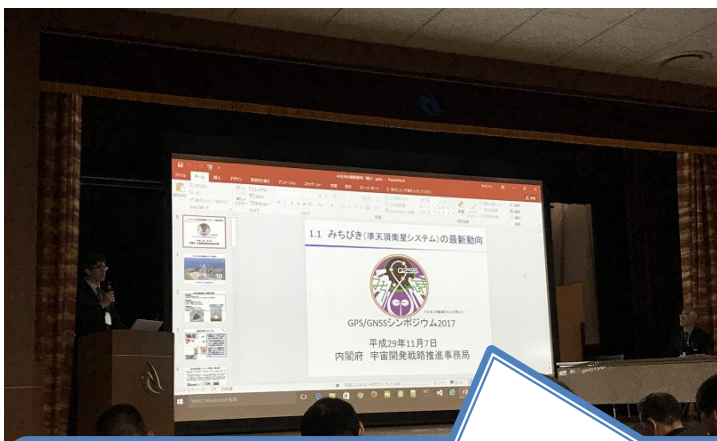
当社 取締役の細井幹広が座長を務めました「GNSS測位応用技術」のセッションでは、自動車、IoT、ドローン、ICT施工、防災等の産業界における様々なGNSS測位の利用やその効果、および利用における課題提起が成され、非常に興味深いセッションとなりました。

また、「GNSS受信機技術」では、当社の顧問でもあります、一般財団法人 衛星測位利用推進センター 松岡 繁氏が座長を務め、準天頂衛星対応受信機やマルチGNSS対応受信機、多周波受信機などの開発状況が紹介され、準天頂衛星活用に向けて各企業が着実に準備を進めていることが感じられました。

シンポジウムに併設された展示ブースには、アイサンテクノロジーからも準天頂衛星対応アンテナや衛星測位の評価・分析ツール「GNSS-Explorer」を展示し、多くの研究者や衛星測位を活用しようとする方々に技術紹介をさせていただきました。

当社は、今後も高精度な位置情報取得技術の研究を続け、実用が間近に迫った準天頂衛星のサービス利活用を推進し、社会に貢献してまいります。

#### 【GPS/GNSSシンポジウム2017の様子】

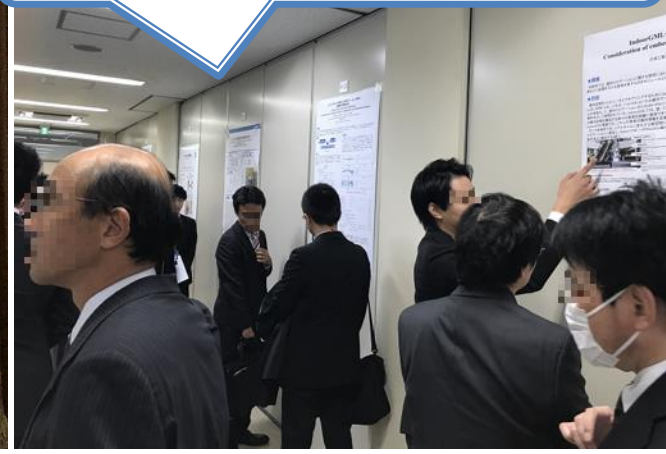


内閣府宇宙開発戦略推進事務局によるキーノートセッション。準天頂衛星の最新動向と今後の計画が説明されました。

GNSS測位応用技術セッションの座長を務めさせていただいたアイサンテクノロジー細井。



ランチ・タイムには学生たちのポスターセッションが開催。若き技術者達は積極的に自分たちの挑戦を説明していました。



【免責とお断り・注意事項】  
本通信及び弊社ホームページの記載事項は、株主・投資家の皆様お客様に対する、迅速な情報公開・提供を目的とし、投資勧誘を目的としているものではありません。